

公立羽咋病院 広報なぎさ 2025夏

第92号



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本
方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502

石川県羽咋市の場町松崎24番地

TEL (0767) 22-1220

FAX (0767) 22-5598

<https://www.hakuihp.jp/>

鼠径ヘルニアについて



鼠径ヘルニア（そけいヘルニア）は、一般的に「脱腸（だっちょう）」と呼ばれる病気で、主に足の付け根（鼠径部）に腸などの腹部の臓器が飛び出してくる状態を指します。特に男性に多くみられ、加齢や腹圧の増加によって発症することが多い病気です。

【原因と症状】

鼠径ヘルニアは、鼠径部にある筋肉や組織の隙間から腹膜や腸管が外へはみ出してしまうことにより発症します。発症の主な原因には、以下のようなものがあります。

- 加齢による筋肉の弱まり
- 重い物を持つなどによる腹圧の上昇
- 慢性的な便秘や咳
- 妊娠や出産の影響（女性の場合）

症状としては、立っているときやお腹に力を入れたときに、足の付け根あたりに「ふくらみ」が現れるのが典型的です。このふくらみは、横になったり押したりすると元に戻ることが多いですが、進行すると痛みを伴うようになり、「嵌頓（かんどん）」と呼ばれる危険な状態に陥ることもあります。嵌頓とは、飛び出した腸などが元に戻らず血流が止まってしまう状態で、緊急手術が必要になる場合があります。嵌頓ヘルニア（近年では非還納性ヘルニアと呼ばれている）は腸閉塞や腹膜炎を併発することがあり、まれに死亡原因となることがあります。

【診断法】

患者さんの症状や見た目の膨らみを確認し、必要に応じて触診や画像検査（超音波検査やCT）を行います。正確な診断により適切な治療方針が決まります。

【治療法】

鼠径ヘルニアは、自然に治ることはほとんどなく、基本的に手術による治療が必要です。手術には以下の2つの方法があります。

1. 鼠径部切開手術：従来型の方法で、皮膚を切開してヘルニアの袋を戻し、弱くなった部分を補強します。
2. 腹腔鏡手術：小さな穴からカメラと器具を挿入して行う手術で、体への負担が少なく、回復が早い傾向があります。

いずれの方法も、現在では「メッシュ」と呼ばれる人工素材を使って患部を補強することで、再発のリスクを大幅に下げることができます。鼠径ヘルニアは早期に適切な治療を行えば問題なく回復できます。当院では鼠径ヘルニアの治療経験が豊富な医師が在籍しているため腹腔鏡手術を含めて様々な術式の施行が可能です。

【手術後の注意点と予防法】

術後1週間は無理をせず、重労働は控えましょう。

術後2週間は重い物を持ち上げるときは正しい姿勢に気をつけ、腹圧を過度にかけないように心がけましょう。その後は運動など徐々に運動強度を高め、最終的には重労働や激しい運動も可能となります。

【予防と早期発見の大切さ】

完全な予防は難しいものの、日常生活でお腹に強い負担をかけすぎないように注意することが大切です。咳や便秘はヘルニア発症の原因となります。逆にヘルニアが発症した場合は便秘の原因となることがあります。鼠径ヘルニアが発症しないよう適度な運動で腹筋を鍛えることも予防に役立ちます。鼠径ヘルニアが発症しても早期であれば楽に治療が可能です。（たとえ長期間放置していたものでも必ず治療できます。）

【最後に】

鼠径ヘルニアは一度発症したら自然治癒することはありません。鼠径部にふくらみや違和感がある場合は鼠径ヘルニアの可能性が高いため早めに外科を受診しましょう。



そけいヘルニアノートの
ホームページ

外科 医師 甲斐田 大資
日本ヘルニア学会評議員
鼠径部ヘルニア習得医
内視鏡外科学会技術認定医（ヘルニア）

外来化学療法室ではどんなことをしているの？

家庭で
役立つ
情報

外来化学療法室はがん治療の抗がん剤点滴治療をする部屋になります。抗がん剤の治療と聞くと皆さんは、一番先に「髪の毛が抜けてしまう」「吐いたり、とても辛い思いをする」とイメージするのではないのでしょうか？

使用する抗がん剤の種類によって、副作用として髪の毛が抜ける場合もあると理解してもらえたらいいかと思います。抗がん剤の点滴には種類によって点滴にかかる時間が異なります。点滴時間が4～5時間と長くなる場合もあります。

そこで、抗がん剤の点滴をしている間の過ごし方の工夫をしています。ベッドで休んでテレビを視聴できたり、趣味の物（クロスワードパズル、編み物、ラジオ等）を持参して過ごしたり、部屋ではオルゴールの音を流したりアロマテラピーをして、化学療法室での時間をリラックスして過ごしていただくようにしています。

外来 看護師 小櫃 祐喜子



外来設備更新

内視鏡室、産婦人科外来、栄養指導室が新しくなりました。患者さんに使っていただけるスペースが広くなり、より快適に治療や指導を受けられます。

内視鏡室前処置室



内視鏡室受付



産婦人科外来待合



内視鏡室



栄養指導室



助産師相談室



健康フェアを開催しました



骨密度測定



肌年齢



コロナ禍で中断していた健康フェアを昨年度復活し、今年も5月2日に開催することができました。昨年は当院だけの運営でしたが、今年は北里大学・香川大学のグループとの共同開催となりました。

血圧・血糖値・肌年齢測定・骨密度・血管年齢など様々な測定とアドバイスに加え、今年度は、野菜の摂取状況チェック（ベジチェック）・筋力測定・呼吸機能測定、運転シミュレーターによる認知機能テストなどのコーナーを設けました。

昨年の倍の約90名の地域住民の方が参加してくださいました。「この会を楽しみにしてきました」「いろいろな健康チェックや専門家のアドバイスを受けられ、楽しかったし勉強になった」「健康について改めて考える機会になりました」「若い学生さんたちやスタッフから元気をもらえました」など、うれしいお言葉をたくさんいただきました。私たちも楽しんで健康推進活動ができました。皆様ご参加ありがとうございました。

副総看護師長兼地域包括ケア病棟師長

森本 ゆかり

血圧測定



血管年齢



運転シミュレーター



血糖測定・ベジチェック



リハビリテーション科実習生

羽咋病院では、様々な疾患の方がいらっしゃるので幅広く知識を学ぶことができました。また、患者さんにとってより良い治療を行うために、他職種との連携が大切だと分かりました。今後は、理学療法士の分野だけでなく、様々な職種に関しても勉強を進めていきたいと思います。さらに、臨床現場でしか体験できない人との接し方や治療の進め方などを体験できたので、これらを活かして、実習やその後働く病院で活動できるように頑張りたいです。

金城大学医療健康学部 理学療法学科 東 琴子



協力対象施設入所者カンファレンスを開催して

当院は実効性のある連携の構築を目的に介護保険施設 5 施設と連携体制を推進しています。

毎月定期的にカンファレンスをオンラインで行っています。5 月 1 日には施設職員と院内スタッフが集合し意見交換も行うことができ、連携の成果を共有できました。「最初は、カンファレンスで何を話せばよいのか分からず戸惑っていましたが、最近は患者さんの状態や施設で対応できるケア内容等、普段話せない様なことも話せるようになりました」「すごく連携は助かっています。家族が遠方で受診が困難となりそうな方も相談したらスムーズです」「何でも気軽に話せる場となっています。相談しやすいこれまでなかった場です」と嬉しいお話が聞けました。

施設の方の困り事を共有し、必要時にスムーズな入院対応が可能となるよう今年度からこのカンファレンスに外来看護師も参加しています。さらに連携を深めていきたいと考えています。

連携施設

- 特別養護老人ホーム 眉丈園
- 特別養護老人ホーム はくいの郷
- 介護保険施設 白鳥苑
- 介護医療院 笑福
- 特別養護老人ホーム はまなす園



医療サービス推進室 山中 由貴子

令和 6 年度国民健康保険功労者表彰 石川県知事表彰を受賞



総看護師長
田島 雅世



管理部門長
東 健

日本看護協会 会長賞



医療サービス推進室 室長
山中 由貴子

看護補助者ラダー昇格について

当院では、看護補助者ラダー制度を導入し、患者さんへの安全なケアの提供や看護補助者の育成をめざし取り組んでいます。そして、看護補助者が誇りをもって職務を果たし、仕事にやりがいを持てるよう支援しています。ラダーは 5 段階あり、例年数名の看護補助者が昇格にチャレンジし、今年度も 8 名の看護補助者が昇格しました。わたしたち看護師は、看護チームの一員として看護補助者とともに成長し患者さんに満足していただけるケアを提供していきたいと思っています。

看護師長 今西 信枝



生け花教室再開



医療サービス推進室 井上 麻有子

コロナ禍の影響で休止していましたが、生け花教室ボランティアが今年5月から再開しました。換気やソーシャルディスタンスなど、感染対策を実施した上での開催としました。

参加した患者さんはもちろん、スタッフもお花をみて笑顔になり、和やかな時間を過ごすことができました。活動してくださったボランティアの皆さま、ありがとうございました。

がんサロンの開始について

がんサロンを6月26日（木）から開始しています。毎月第4木曜日の14:00～14:30に行っています。患者さんおひとりお一人に寄り添いたいと思っています。いつでも気軽にご相談ください。本人さんが当院に通院していなくても、ご家族の参加も結構です。皆様のお越しをお待ちしております。

がん化学療法／緩和ケア委員会／看護師長 喜多 貴子

事前申し込み：不要 場所：医療サービス推進室



ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写 真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵 画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書 字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳 句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥ 園児の絵 羽咋幼稚園



季節の 写真



梅雨に入ったと思ったところでしたが、あっという間に気温が上がり、暑い夏が始まりました。今年も猛暑になるのではないかと心配です。

文・写真
リハビリテーション科副士長
大西 公亮